

研究課題名	円板状半月板に関する病態解明と治療成績の多施設研究
研究の意義・目的	円板状半月板は先天的な半月の形態異常であり、しばしば臨床現場で遭遇する疾患ですが、その半月板形態は様々であり、さらに離断性骨軟骨炎を合併することもしばしばです。円板状半月板は、その病態の詳細な検討はされておらず、円板状半月板に関連する膝関節形態学的特徴もわかっておりません。また円板状半月板に対する手術として、不安定な部分を切除する垂全摘あるいは部分切除が推奨されており、その術後成績は良好とされていますが、切除範囲に対する研究は少ないです。今回の研究では若年者円板状半月板における離断性骨軟骨炎の発生頻度、年齢分布とMRIによる半月板形態との関係、円板状半月板手術後の合併症発生の特徴、手術法による発生率の差を調査することを目的としています。本研究は大阪市立大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日 ~ 2027年3月31日
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2007年1月~2027年3月に下記の研究機関で、円板状半月のため受診された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 患者基本情報：性別、年齢、身長、体重、病歴、診断名、既往歴、膝関節可動域、理学所見 臨床評価項目：膝運動機能評価、スポーツ活動レベル、スポーツ復帰の有無 画像検査：単純X線、MRI
試料・情報の他機関への提供	下記の共同研究機関から代表研究機関である大阪市立大学大学院医学研究科整形外科学に情報を提供いたします。大阪市立大学から、他の機関に情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	<代表研究機関> 大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 橋本 祐介 <共同研究機関> 大阪市立総合医療センター- 整形外科 山崎 真哉 運動器ケアしまだ病院 整形外科 富原 朋弘 済生会中津病院 整形外科 西田 洋平 医療法人いずみ会阪堺病院 整形外科 新熊 孝文 医療法人貴島会貴島病院本院 整形外科 池田 樹広 泉大津市立病院 整形外科 寺岡 貴徳
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 整形外科学 橋本 祐介
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究機関：大阪市立大学大学院医学研究科 所属：整形外科学 研究責任者 橋本 祐介 住所 大阪市阿倍野区旭町 1 - 4 - 3 電話 : 06-6645-3851 FAX : 06-6646-6260 E-mail: seikei@med.osaka-cu.ac.jp